

ホームページのセキュリティ対策を!

～サイバー攻撃から会社を守る～

国内において、大手企業のホームページから個人情報が出た事件の中には、Apache(アパッチ)の脆弱性が原因とみられるものがあります。
(Apacheとは、Webサイトをインターネット上に公開するための代表的なソフトウェアです。)

使用するソフトウェアを最新の状態に保ち、セキュリティの弱点を残しておかないことが重要!! でも…

現状は…

- システム更新に手間がかかることから対策は後手になりがち。
- ソフトウェアのサポート切れに気が付かないまま使用している。
- 経営者層が、ソフトウェア更新の重要性を認識していない。



サイバー攻撃の
標的になりやすい。

脆弱性を放置した結果

- 顧客情報が流出
- 機密情報が流出
- ホームページ閲覧者のパソコンがウイルス感染
- 他のサイトを攻撃する踏み台に!

- 自社のホームページに関するソフトウェアのバージョンや各種設定を確認してみましょう。
※ホームページの管理を外部に委託している場合は、更新状況を含めたセキュリティ状況を委託先に確認しましょう。

- ソフトウェアは、サポート期限内は開発者から更新プログラムが提供されます。常に最新のセキュリティ状態を保ちましょう。

- ウイルス対策ソフトの更新もお忘れなく!

